

特許第四一六六〇號

第九十三組

特許權者 延原觀太郎
大正十一年四月十四日

神戸市宮本通五丁目八十五番屋敷

特許權者 發明者

延原觀太郎

明細書

延原式整流裝置

發明ノ性質及ヒ目的ノ要領

本發明ハ整流子電機ニ於テ聚電用ノ刷子以下主刷子ト稱ス。ノ外ニ別個ノ全然孤立セル刷子以下整流用刷子ト稱ス。ヲ整流子表面ニ主刷子ヨリ少許槽ラセタル位置ニ置キ主刷子下ニ覆ハル整流子片ト之ニ隣レル即主刷子外側ノ整流子片トヲ短絡スル狀態ニアラシメタル整流裝置ニ係リソノ目的ハ主刷子ニ於ケル電火其他ノ障礙ヲ防止シ兼テ整流用刷子ニ於ケル整流障礙ヲモ輕減スヘカラシメントスルニアリ

圖面ノ略解

第一圖ハ本類整流裝置ヲ解説スル展開圖第二圖ハソノ一ノ應用例ヲ示ス展開圖ナリ

發明ノ詳細ナル説明

本發明ハ整流子電機ニ於ケル整流裝置ノ改良ニシテ要旨ハ主刷子ト整流用刷子トヲ各獨立シテ設ケ整流用刷子ハ主刷子ソノ他外部ニ對シ何等接觸ヲ有セム。全ク孤立ノヒントシ之ヲ主刷子ニ對シ槽進クシメテ整流子面ニ緊接シ主刷子ト離脱セントスル整流子片ト之ニ短絡整流子片トヲ整流用刷子ヲ以テ短絡ヒシム而シテ整流用刷子ハ主刷子Bニ比シ電氣抵抗接觸抵抗ヲモ含ム。大ナルモノヲ使用スルモノト主刷子カノ整流子片例ハ二ト離レントスル略間遠整流用刷子Bノ高キ抵抗ニテ豫メ短絡シ置ク爲主刷子ト主トノ電

流ノ急激ナル變化ヲカラシメ電火ノ發生ヲ防止シ得ヘカラス

整流ノ一要素トシテ刷子ニテ復ハル、數個ノ整流子片ノ各個カ異レル電壓ヲ有シテ連レルコトニ基因シ刷子ヲ全シ局部的回路ニ電流ヲ通セントスルヲ防止スルヲ要ス此ノ局部的回路ニ於テ整流用刷子ハ一ノ整流子片ト之ニ隣レル整流子片トニ對シ二個ノ接觸ニヨリテ跨リ即ニ接觸抵抗ヲ經過スヘカラスムヲ以テ整流用刷子ヲ主刷子端部ニ併合令一シタリト假定スル場合ニ比シテ電氣抵抗甚大ナルヲ得該回路ノ循環の電流ヲ阻止スルノ特性ヲ有シ得ルノミナラス整流用刷子ノ電流モ同シ理ニヨリ輕減セシムルノ利アリ從テ主刷子トシテハ主電流ニ對シ甚シキ妨害トナル程度ノ高抵抗ヲ與ヘサルヲ得ルモノトス

主刷子トシテソノ中性面ニ置カルヘキ部分ヨリ漸次元ニ遠カルニ從テ電氣抵抗ヲ高カラシムル如ク作リタルモノヲ使用シ又整流用刷子モ中性面ヨリ遠キ部分程高抵抗ヲ有スル如クセルモノヲ使用スルトキ上記整流性ハ一層完全トナルハ明瞭ナリ

又整流用刷子ヲ數個順次ニ摺廻ラシメタル位置ニ置キ且ソノ各個ノ抵抗ヲ主刷子ニ比シ漸次遠キモノ程高カラシメ順次上記作用ニヨリ一層完全ナル整流ヲ希圖シ得ヘキコトモ亦明ナリ

第二圖ニ於ケル日_Bハ是等整流用刷子ヲ示スモノトス刷子カ整流子片ト接觸シ始ムル部分ニ於テモ電流ノ急變ヲ起スヘキカ故ニ上記ト同理ニヨリソノ前方ニ進ミタル位置ニ整流用刷子日_B等ヲ使用スルコトアルモノトス

本願整流裝置ハ電機子捲線ト整流子片トリード線トノ間ニ挿入セラレタル電氣抵抗ト併用シテ尚一層整流ヲ良好ナラシムルヲ得ルモノトス

特許請求ノ範圍

- 一 前記目的ニ於テ整流子電機ノ聚電用主刷子ノ外ニ主刷子及外部ニ對シ接觸ナキ全然別個ノ孤立セル整流用刷子ヲ設ケ之ヲ主刷子下ニ覆ハル整流子片トソノ外側ノ整流子片トニ跨ル如ク壓接シ主刷子ノ電流急變ヲ防止スヘクナシタル延長式整流裝置
- 二 前記目的ニ數個ノ孤立セル整流用刷子ヲ順次主刷子ヨリ摺ラセタル位置ニ布置シ主刷子ニ遠キモノ程高キ抵抗ヲ有セシメタル請求範圍第一項所載整流裝置

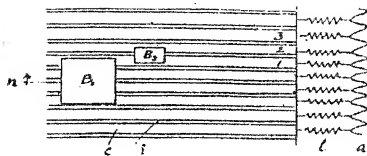
三 前記目的ニ於テ主刷子及整流用刷子トソノ中性線ヲ接ハニ從テ電氣抵抗ヲ高カラシムル如ク構造シタルモノヲ使用スル請求範圍

第一項 總則

四 前記日の二族、此抵抗、異ニテ、村村ヲ侵食シ、各部抵禦、
 理ヲ使用シ、請求範圍第一、第二、第三項所收ノ被害

五 前記の二は、電子探線と電子目地と、一は、高抵抗挿入と、請求範圍第一項乃至第五項所收條文に

圖一第



圖二第

